



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝 「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第43号
熊本市立植木小学校
令和6年11月13日
校長 東田 昌樹

3年生研究授業・・・人権学習「たてわりはんそうじ」

11月13日(水)に、3年1組の人権学習の研究授業がありました。多くの植木地区の小中学校の先生方から見られる中での研究授業でした。

3年1組の子どもたちだけは、1時間多く学習して帰りました。いつも通りにのびのびとして、且つ、集中してよく頑張りました。

この人権学習の授業について紹介します。教材文の「たてわり班そうじ」は次のような内容です。

たてわり班そうじの時間、3年生の夕里は2年生のいつき君に、「今日はぞうきんの係をしてね。」とお願いした。ところが、いつき君は、「ぼく、今日もほうきを使いたい!」と言う。先週はいつき君がほうきをして、今週は私の番だ。

言うことを聞かないいつき君を放っておいて、私はほうきでろうかを掃き始めた。そこに、保健室の先生が通りかかり、いつき君に理由を聞いた。いつき君は「今日の朝の会で、担任の先生からほうきの使い方を習ったので、ほうきを使って試してみたかった。」と答えた。

「相手のことを理解するにはどうすればよいか。」「けんかにならないようにするためにはどうすればよいか」を3年1組の子どもたちは、しっかり考えました。

「相手の気持ちや表情をしっかり見ればいいです。」
「相手の思いをしっかり聞いて、自分の思いを伝えればいいです。」

「相手に理由を聞くことが大事だと思います。」

「『どうしたの?』と聞けばいいと思います。」

このような意見が出ました。

この後、ロールプレイをしながら私の立場だったらどうするかを考えました。



夕里 「いつき君、今日はぞうきんの係をしてね。」

いつき 「ぼく、今日もほうきを使いたい!」

この続きをどのように言うかを考えながらロールプレイをしています。

子どもたちは、例えば次のように言いました。

夕里 「どうして?」

いつき 「だって、今日、先生にほうきの使い方を習ったから試してみたいから。」

夕里 「じゃあ半分ずつ交代でやろうよ。」

いつき 「それならいいよ。ありがとう。」

「自分の考えを相手に伝えるとともに、異なる意見も大切にしようとする気持ちを持つこと」がねらいの研究授業でしたが、十分に達成できたようです。



【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成
～ どの子ども大切にされ、どの子ども成長する学校をめざして ～

